

◆企画名	<u>idea を形に！～イベントパートナー募集～</u>
日程	<u>2023 年 4 月 1 日（土）～6 月 30 日（金）</u>
場所	<u>インフォメーションシステム、各種 SNS（Instagram・X）、ポスター</u>
参加者数	<u>10 名（ピア・サポータ 4 名、研修生 2 名、一般学生 4 名）</u>

目 的

関西大学の学生団体及び個人のアイデアを募集し、KUSP と共同で立案から実施までを行う企画である。応募者とともに一から企画をつくりあげることで、互いに発想力が豊かになり、視野を広げることができる。また、共同で行う中で応募者である学生が達成感を味わい、自分に自信を持つことを目的とする。

内 容

・実施の流れ

- ① 2023 年 4 月 1 日（土）から、大学のインフォメーションシステム「お知らせ」や KUSP の SNS（Instagram・X）等を通じて、当企画の周知と募集を開始した。
- ② 3 名の一般学生から応募があり、こちらの問い合わせに返答のあった 2 名と面談を行った。提案の企画内容はそれぞれ「大学の教室の位置を記した地図づくり」と「冤罪事件についての講演会」だった。
- ③ 「大学の教室の位置を記した地図づくり」は、面談の結果、1つの企画として成立させられるだけの内容がないとの理由から、企画化することが困難と判断し、お断りした。
- ④ 「冤罪事件についての講演会」については、面談だけでは実現できるかの判断がつかなかったため、メールにて情報交換を行った。その後、応募者とのすれ違いが生じ、応募者よりアイデアの取り下げの申し入れがあった。
- ⑤ 応募内容の採否について、KUSP 内で話し合いを進めるにつれて、現在の KUSP の状況から、本事業を実施することを再検討した方が良いとの意見があり、その結果 2023 年度の「idea を形に！」の実施を取りやめることを決定した。
- ⑥ 中止決定後に届いた 2 件の応募については、KUSP 側の事情により 2023 年度の実施を見送る旨を説明し、丁重にお断りした。
- ⑦ 募集締切日である 2023 年 6 月 30 日（金）をもって、本事業を終了した。



・本事業を取りやめる理由

- (1) 現 KUSP メンバーの企画運営に関する活動経験が不足しているため

本事業は一般学生からの応募企画の実現に向けた共同での活動となるため、KUSP 単独の企画運営活動よりも高度なノウハウが要求される。しかし、現在の KUSP メンバーの多くは、KUSP 単独での企画運営活動のノウハウを学んでいる段階であり、一般学生とともに円滑に企画を進められるほどの経験がない状態であることを 2023 年度の企画運営から感じたため、仮にこのまま募集を続けても、応募者・KUSP の双方が満足していく企画を実施することは困難だと判断した。

- (2) 現 KUSP メンバーが意義のある活動をするため

現在の KUSP では一般学生と共同して企画を実施するよりも、まずはメンバー個々人が KUSP 内で成し遂げたいことに焦点を当て、メンバーの自己実現を図りつつ、学生に対して有意義な企画を提供するという活動方針の方が、メンバーが KUSP の活動に参加する意義を見出せるのではないかと感じた。今後はメンバーでより時間をかけて話し合い、メンバー一人ひとりが参加する意義を感じられる企画づくりをめざしていきたい。

効 果

一般学生のアイデアを実現するという活動目的は達成できなかったが、現在の KUSP 内の課題を見つけることができた。

改 善 点

今回の企画が上手くいかなかった原因は KUSP の企画運営の経験不足である。しかし、時間や人数の制約上、実施できる企画数には限界があり、その限られた機会でも効率良く経験を積む必要がある。そこで、今後 KUSP のメンバーの企画案を進めて行く中で、自分たちの企画準備の仕方の型を確立していくことが重要だと思う。決まった型ができてしまえば、あとはそれに当てはめながら進めて行くことができ、別の企画にも応用できると考える。具体的には、企画の準備に取りかかる前に企画の全体像を把握し、各工程の内容や役割をメンバー全員で確認しながら進めていくことが必要になると考える。

感 想

今回の企画を進めていく中で、立場の異なる人と協力して準備を進めていくことが改めて難しいと感じた。相手の状況や立場について想像力を働かせないと円滑なやりとりを行うことは困難である。しかし、自分達が企画の進め方の面で余裕がなければ、相手の状況まで考えることは事実上、不可能である。今回の事業を通して、KUSP の現状やあり方に目を向ける良い機会となった。